

告示	番号	14	内分泌疾患
	疾病名	10 から 13 までに掲げるもののほか、クッシング症候群	

33 から 36 までに掲げるもののほか、クッシング (Cushing) 症候群

そのた、くっしんぐしょうこうぐん

概念・定義

クッシング症候群のうち、クッシング病、異所性 ACTH 産生症候群、副腎腺腫、副腎皮質結節性過形成を除外した疾患が含まれる。

症状

非特異的臨床症候としては、耐糖能異常、高血圧、月経異常、にきび、浮腫、肥満、骨粗鬆症、多毛、色素沈着、うつ状態などがみられる。特異的症候としては、皮下溢血、皮膚のひ薄化、近位筋萎縮による筋力低下、中心性肥満、水牛様脂肪沈着、満月様顔貌、伸展性赤色皮膚線条、小児における成長遅延がある。

治療

副腎摘出により治療が可能である。手術不能例ではステロイド合成阻害薬または両側副腎摘出を考慮する。

抜粋元 : http://www.shouman.jp/details/5_18_37.html